

年末に先立ち部屋の整理をした。

昔は試験前など心と体が要求するに任せ、心機一転をねらって室内の大掃除をしたが、最近手はかけず以前のまま。生活習慣が固定したためようだ。

久しぶりの部屋の交換を含めた大掃除で隠れた必要物を見つけ、不要物を捨てた。

耐震の本立てを増し、コンセントを集中させ、季節ごとの衣服を徹底的に整理し、古い絨毯をはずし床とし、CD・DVDと小物を便利に分類した。まるまる2週間かかった。

おかげで心もスッキリし、室内が癒しの空間となった気分だ。

こんなことでとも思うが、ハイジの屋根裏の麦わらベッドのような隠れ家的な居心地の良さを実感している。あとはうたた寝できる安楽椅子が届けば完成。

これからの寒い冬に備えての私の自分へのプレゼントというわけだ。

加えて例年はファンヒーターで暖を取るが、空気を汚さず感冒予防のため、カーテンを二重にして床まで垂らし、パネルヒーターを用いることとした。

皆さんも風邪を引かぬよう御自愛くださいませ。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊

【運動療法サービス】

いつも来てくださっているボランティアの羽田さんが大きな柚子を持ってきてくださいました。

その大きさに皆さん驚き、手に取って匂いを嗅いだりしていました。

職員がその柚子に目と口をつけて飾ってみました。利用者様にとっても好評で、「かわいいね」とおっしゃっていただきました。中にはあまりにも気に入って、自宅に持ち帰り飾られている方もいました。

またどんな物が飾られるのでしょうか。楽しみです。



【頭の体操コーナー】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。



くもん学習療法「頭の体操」は職員1人と利用者様2人で行う事が基本です。なぜ1対2対応かというとコミュニケーションの効果を測定する研究で、この形態が最も効果が高い事が確かめられたからです。

教材を行った後のコミュニケーションの時間は脳の前頭前野の働きを良くし、他者への関心を持ち、社会性を取り戻す事が期待されます。

子供の頃の話や仕事をしていた時の話、おいしい料理の作り方など、私達職員も「なるほど！」と思う話がたくさんあり、時間が過ぎるのを忘れてしまうほどです。



【外来】

9月より外来の事務に加わりました、竹内祐子です。まだまだ至らない点が多く、皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、患者さまのお気持ちに添い、迅速かつ丁寧な接遇ができるよう精進して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ハーブの待合室はいつもアットホームで和やかな雰囲気、地域に密着した医療の現場に自分も立たせて頂いていることがとても嬉しいです。どうぞお気軽に声をかけてください♪

学習療法の効果や、ハーブでの取り組みをホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

ハーブ内科

検索



発行元：
医療法人ハーブ内科
(株)ハーブライフケア

知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752
FAX 0569-49-2753